

くまもとアートポリスとは

熊本県下を舞台に豊かな自然や歴史、風土を生かしながら、
後世に残り得る文化的資産としての優れた建造物を造ります。
人々の都市文化、建築文化などへの関心を高め、
地域の活性化に資する熊本独自の豊かな生活空間を創造します。



1 後世に残り得る文化的資産を創ります

本県で培われてきた多彩な地域文化や伝統を守りつつ、日本や世界で活躍する優秀な建築家・デザイナーの豊かな発想と、その地域で生活する人々との協働によって、質の高い優れた建造物を地域に生み出します。

2 地域への波及効果を生み出します

参加プロジェクトは、単なる建造物として存在するだけでなく、地域の人々に溶け込んで新しい風を吹き込みます。その地の見どころとして観光面の展開が図れるほか、ランドマーク、あるいはまちづくり等の活動の中心として地域の活性化に貢献します。

3 新しい生活文化を創造します

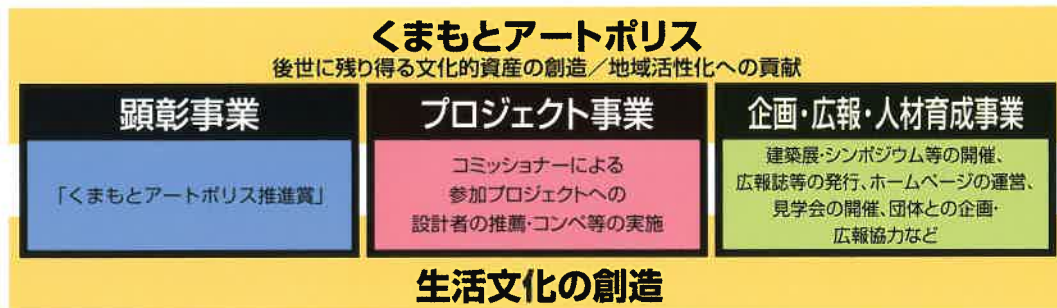
コミッショナーが推薦する才能とアイデアに優れた建築家やデザイナーは、地球的規模での視野をもって機能面はもとよりデザイン的にも優れた建造物を設計します。そして、事業主や建造物を利用する方々との積極的な対話を通して、その地域固有の環境や歴史に配慮した独自の新しい生活文化を創造していきます。

4 県内全域に広がります

参加プロジェクトは、それぞれの地域において「点」として散在し、さらにそれが「線」として近隣の参加プロジェクトとの結びつきを強め、やがては熊本県内全域に「面」としての広がりへと発展します。

くまもとアートポリスのシステム

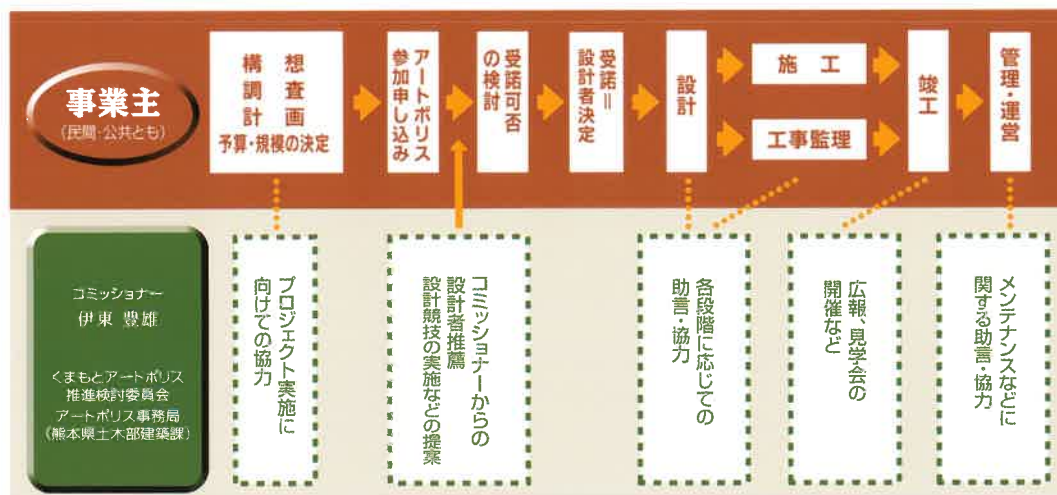
くまもとアートポリスは、地域の人々とともに地域の声を生かしながら優れた建造物を創造するプロジェクト事業、県内の優れた建造物を表彰する顕彰事業、講演会・シンポジウム、展覧会等を開催する企画・広報・人材育成事業がその中心です。



プロジェクト事業

プロジェクトの実施にあたっては、自由な意思を生かすためコミッショナー制度を取り入れています。コミッショナーが国内外から適性と能力を兼ね備えた建築家を推薦したり、設計競技などを実施してその事業に最適な設計者を選びます。設計者は、その建造物に関わる多くの人々とコミュニケーションを繰り返しながら、建造物の設計を進めます。事業主は民間、公共を問わず全て対象です。住宅などの建築物はもちろん、橋などの土木建造物、公園やランドスケープといった環境整備と広範囲にわたっています。また、学識経験者や建築専門家などからなるくまもとアートポリス推進検討委員会、アートポリス事務局等が計画をサポートしていきます。

プロジェクト事業の流れ



顕彰事業

1992年に熊本県内の歴史的、または親しまれている代表的建造物をKAP'92選定既存建造物として選んだのははじめ、1995年より熊本県内の質の高い優れた建造物(アートポリス参加作品を除く)を顕彰する「くまもとアートポリス推進賞」の表彰を実施しています。この賞は優れた建造物(建築物、橋、公園、記念碑等の建造物及びそれらで構成された一群の施設等)を顕彰することで、都市環境並びに建築文化などの向上を目指し、あわせて豊かな地域づくりを図るもので、選考委員会が企画・設計・施工及び施設の運用などに関する総合評価を行い優れた施設を熊本県知事が表彰します。

企画・広報・人材育成事業

「くまもとアートポリス」の理念を達成するために下記の活動を行います。

- ①シンポジウム、講演会などの開催
- ②見学会の開催
- ③広報誌、インターネットを使つての情報発信
- ④報道機関等を通しての広報
- ⑤諸団体との企画・広報協力

くまもとアートポリスホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/site/artpolis/>